



先輩、ありがとう！



2月18～20日の3日間、元ミラノ日本人学校生徒のNさんがボランティア活動に来てくれました。彼は現在、イギリスで2番目に古い歴史を持つ Sevenoak School の高校生です。今回はIB（国際バカロレア）ディプロマ・プログラムのCAS（Creativity, Activity, Service）のために本校を訪れました。これまでも国際連合のシミュレーション会議に参加したり、BMW等の企業で職業体験してみたりと様々な経験

をしてきた彗立君。小5～中3の子供たちに、学校の紹介、寄宿学校の様子、海外の学校の入学に必要なこと、将来の夢、そして英語学習法を教えてくださいました。質問タイムでは寮の食事からクラブ活動、詳しい英語勉強法に関することまで、一つ一つ丁寧に答えてくれました。その日、小学生は日本語で、中学生は英語で感想文を書いてきてくれましたが、「今まで学校で色々な体験をしてきたけど、今日の



がトップ1でした」「大学はアメリカかイギリスに行こうと決心しました」などの意見に、彗立君も感動していました。彼は小さいころから車が好きで、車に関する本や雑誌を英語でたくさん読み、文を暗記して勉強しました。あまりの英語の流暢さにイギリス人だと思った子もいたようです。「僕の友達、親の望み通り医者になりましたが、その後『本当に自分のやりたいことではなかった』と、大学に入り直しました。皆、夢を見つけてください。夢は途中で変わってもいいから、とりあえず自分の好きなことを真剣にやってみて、本当にやりたいことを見つけてください。」と、熱く語ってくれました。

英語でことわざ



最近英語の時間に賑やかな声が聞こえてくるのは、前号でお知らせしたことわざを使ってカルタをしているからです。ことわざの意味を学習している時はそれほどでもなかったのですが、カルタとなると俄然張りきる中学生。日本語英語両方で100個のことわざを覚えることで、無意識に新しい単語や比較級・倒置法等を使った文を日々懸命に覚えています。こんな風に英検の語彙も一生懸命覚えてくれるといいのですが、、、！

♡フランス人学校との文通③♡

今回、日本人学校のテーマは「尊敬する人」。フランス人学校は「私の夢」でした。もうすっかり自分の文通相手の名前も覚えて、嬉しそうに手紙を読む子供たち。手紙の内容は、なりたい職業、欲しい子供の数、環境問題など様々。フランス人学校の先生からも「今回の手紙にも、子供たちは大喜びです。とても素敵な紙に、上手な絵、そして何より心のこもった内容！子供たちが他のクラスに見せびらかすものだから、その子供たちが『私たちだって参加したい！』と文句を言いに来たくらいです。」とのこと。おかげでエッセイも上手になってきています。心のこもったプログラムと一緒にしてくれるフランス人学校に感謝です。

